

## 車業界の余剰人員を軍需産業が吸収

廃電池をレーザーでリサイクル  
トルンプが新開発の技術を見本市で公開

「内燃機関車の生産終了期限延長を」  
市場動向踏まえアウディの従業員サイドが要求

<統計>

ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第3四半期

\* PDFファイルでご覧の方は左のパレットの「しおり」を開き、見たいタイトルを選択して下さい。

■注意■

1. 弊社との契約でご指定になった住所の事業所及びEメールアドレス以外に本誌を配布・転送することを固く禁止いたします。
2. 本誌のご利用によって生じたトラブル・損失・損害に関し、当社は一切の責任を負いません。

FBC Business Consulting GmbH August-Schanz-Str.8 , 60433 Frankfurt/M. (Germany)  
Tel : 069-5480950, Fax : 069-54809525, E-mail : fbc@fbc.de, <https://www.fbc.de>

Rechtsform: GmbH Sitz: Frankfurt am Main HRB 44664 Geschäftsführer: Susumu Fujita

総合

車業界の余剰人員を軍需産業が吸収 ..... 4  
 サービスが物価押し上げ、5月インフレ率2.4%に上昇 ..... 6  
 中国製BEVにEUが関税上乘せへ、BMWなど欧州勢の現地生産車も対象に ..... 7  
 卸売物価の下げ幅縮小、5月は-0.7%に ..... 7  
 UAE企業による買収をEUが調査へ、外国補助金規則違反の疑い ..... 8  
 世界競争力ランキング、独は24位に後退 ..... 8



土屋伸爾

余白一滴

ドイツの欧州議会選挙結果は極右のRNが大勝したフランスとともに衝撃的であった。特に若年層の投票先の変化は劇的で、山が動いたと言っても過言ではない。これまで若者の人気ダントツで高かった緑の党の得票率が25歳未満に限ると34%から11%に激減。極右のAfD（11ポイント増の16%）が最大の流出先となったのである。ある程度予想はしてはいたが、これほど極端に変化するとは思っていなかった。

驚いたのは独メディアも同じで、先週は若者の声や識者の見解を取り上げる記事をちらほら見かけた。それらを読んでおぼろげながら輪郭が見えてきたので、記してみたい。

まずは現政権とその一角を担う緑の党に対する批判である。与党間のもめ事が多く政策がなかなかまとまらない、まともでも妥協が多くプロ

フィールがぼやけていることに多くの有権者は苛立ちを感じている。この批判票の多くがAfDなどの国政野党に流れたのである。

見落としてはならないのはミニ政党が合わせて29%を獲得したことである。例えば親EUと環境保護を旗印とするヴォルトという政党は25歳未満に限ると9%と高い。環境重視派の多くが緑の党のオルターナティブとして投票したのだ。得票率5%未満の政党は基本的に議席を獲得できない国政選挙と異なり、欧州議会選挙では1%程度の得票率で議員を議会に送り込めるという計算が働いたのは確かだろう。

2019年の前回選挙では地球温暖化が大きな争点となっていた。折しも若者の間では各国政府や企業の気候変動対策は不十分だと批判する運動「フライデー・フォー・フューチャー」が盛り上がり、当時は野党だった緑の党の強力な追い風となっていた。

今回の選挙ではウクライナ戦争が一步間違えば欧州全域を巻き込む大戦争に発展するリスク、高インフレ、家賃の上

昇、難民問題などの比重が大幅に高まり、多くの人々の間に不安・不満を生じさせていた。この状況をうまく利用したのがポピュリスト政党のAfDである。同党に投票した20歳の小売店店員は南ドイツ新聞に、他の政党はウクライナなど他国の支援に熱を入れる一方で、ドイツ人への配慮が足りないと語った。給与は最低賃金であり、親元から独立できない状態にある。

注目すべきは、この店員がInstagramとTikTokでAfDのアリス・ヴァイデル共同党首のフォロワーとなっていることだ。テレビはフェイクニュースが多いから信頼できないと明言する。

InstagramもTikTokも若者の間でよく利用されるSNSである。他の政党も活用しているものの、AfDは過激な内容を意図的にアップすることから、拡散力が高い。情報リテラシーの低い人が現状に不満を持っていると誘導されやすい。AfDの主張を一度信じてしまえば、メディア報道がフェイクニュースにみえるのは自然な事柄と言えるだろう。

## 企業情報

フォルクスワーゲン（自動車）—印ジンダルから低炭素鋼調達、中東で生産— 9  
 シーメンス（電機）—SF6フリーGISの生産能力拡大へ— 9  
 エボニック（化学）—PEBAの生産能力倍増— 9  
 川崎汽船（海運）—合成メタンの分野で欧州社と協業— 10  
 東芝（電機）—欧州の鉄道安全性規格取得— 10  
 BASF（化学）—合弁洋上パークでヴェスタス製タービン採用— 10  
 KaDeWeグループ（小売）—タイのセントラルが完全子会社化— 11

## 経済・産業情報

廃電池をレーザーでリサイクル、トルンプが新開発の技術を見本市で公開 12  
 川重とダイムラーが協業、液化水素の供給網を欧州に構築 13  
 「内燃機関車の生産終了期限延長を」、市場動向踏まえアウディの従業員サイドが要求 13  
 輸入BEVの4割が中国製に、新車シェアはMGロエベの4.5%が最高 14  
 ロボット・オートメーション業界、売上成長鈍化見通し 14  
 フルーツ飲料の消費量減少、価格上昇など響く 15  
 プレハブ住宅の完工数、従来型に比べ減少幅小さく 15  
 露ガス大手への独ユニパーの損賠請求権、仲裁裁が認定 15  
 金属労組がベア7%要求へ、国内雇用が悪影響と雇用者側はけん制 16

## 目で見えるドイツの経済・社会

ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第3四半期 17

## 為替・株価・原油

2024年6月5日～18日 19

## ゲシェフトフューラーの豆知識

サッカー欧州選手権、勤務中の視聴はOK？ 5

FBCでは、読者の皆様と一緒に誌面作りに取り組みたいと考えております  
 お気づきの点や率直なご意見・ご感想など弊社カスタマーサポートまでぜひお気軽にお寄せください

FBC Business Consulting GmbH  
 address : August-Schanz-Str.8 , 60433, Frankfurt/M, Germany  
 tel : +49-(0)69-5480950  
 e-mail: info@fbc.de  
 http://www.fbc.de

## 総合

車業界の余剰人員を軍需産業が吸収  
コンチネンタルからラインメタルに社員移籍へ

自動車部品大手のコンチネンタルは 13 日、整理対象となる自社社員の一部を軍需大手のラインメタルが受け入れることで基本合意したと発表した。車両の電動化で余剰人員が発生している車業界から、特需で人手不足が起きている軍需業界に就労者が移動する格好となる。コンチネンタルの競合ボッシュなども同様の取り組みを行っている。

電気自動車 (BEV) は内燃機関車に比べ部品点数が少ないことから、部品業界では BEV の販売が増えるにつれて必要とする就労者が減っていく。これを受け部品各社はすでに事業拠点の統廃合や人員削減に乗り出している。

一方、軍需業界ではロシアのウクライナ侵略をきっかけに兵器需要がにわかに拡大。ラインメタル

の売上高は今年 40% 拡大する見通しだ。市場の成長に見合った生産能力の整備が喫緊の課題となっている。

ドイツは他の先進国同様、少子高齢化が進展し、働き手が不足している。特に高い技能を持つ就労者の不足は深刻度が高い。

こうした状況を背景に、優秀な人材を大量に確保したい軍需メー

カーと、不要となった人材の再就職を支援したい車部品大手の思惑が一致。部品各社と軍需各社の間で従業員の移籍に向けた協議が活発化している。

コンチネンタルでは整理対象となった拠点の従業員を対象に、ラインメタルへの転職について説明会を開催する。2027 年末までに閉鎖予定の独北部ギフホルン工場については、最大 100 人の従業員が約 50 キロ離れたウンターリュースにあるラインメタルの工場勤務できる見通しという。従業員は転職に向け、社内のリスクリング機関である「コンチネンタル技術・トランスフォーメーション機構 (CITT)」で支援を受けることができる。産業構造の転換に伴う失業を可能な限り回避するために経済

界が 21 年に立ち上げたイニシアチブ「チャンスのアライアンス」を通しても社員の転職をサポートしていく。

ラインメタルはコンチネンタル以外の部品メーカーとも従業員の獲得に向けた協議を行っている。経済紙『ハンデルスブラット』はボッシュ、ZF フリードリヒスハーフェン、マーレが協議先だと報じた。

ZF の広報担当者は、ゲルゼンキルヒェン工場を今年末で閉鎖すると発表した後、有名企業数社から熟練労働力の問い合わせがあることを明らかにした。同社の国内雇用規模は今後、1 万 3,000 人、縮小すると見込まれている。エンジン部

品大手のマーレは、整理対象となる社員に再就職の見通しを示すことは重大案件だと回答した。ボッシュはチャンスのアライアンスを通して転職支援を行っている。

## シームレスな転職促進

ドイツでは経済が構造危機に陥った 1990 年代半ばから 2000 年代半ばにかけて、企業の大規模な人員削減が相次いだ。最悪期の 05 年冬季には失業者数が 500 万人超と現在の 2 倍を記録。ナチスの台頭を招いた 1930 年代初頭以来の高水準に達した。再就職の壁は高く、多くの失業者は給与の減少を受け入れて新たな勤め先を確保した。高

年齢者では労働局が実質的にさじを投げるケースが多かった。

人材不足が年々深刻化する現在は状況が逆転。企業は専門技能を持つ人材を血まなこになって探している。チャンスのアライアンス (die Allianz der Chancen) は労働市場のこうした変化を背景に設立された団体だ。DX (デジタルトランスフォーメーション) や GX (グリーントランスフォーメーション) など経済の構造転換を受け、一部の企業や業務分野では人員削減を余儀なくされていることから、シームレスな転職を促進することで、貴重な労働力を有効活用する狙いがある。雇用者団体、労働組合、連邦雇用庁 (BA)、研究機関、

次ページに続く⇒

リスクリング機関などと連携している。

加盟企業は現在 67 社に上る。会員リストにはコンチネンタル、ボッシュのほか、メルセデスベンツ（自動車）、シーメンス（電機）、

インフィニオン（半導体）、BASF（化学）、バイエル（ライフサイエンス）、エーオン（エネルギー）、ドイツ銀行（金融）、DHL（物流）、ドイツ鉄道（運輸）など幅広い分野の大手企業が名を連ねる。マイク

ロソフト（IT）やマッキンゼー（コンサルティング）、ロシュ（製薬）などの外資も会員となっている。

<SC49988>

# ゲシェフト フューラー の 豆知識

## サッカー欧州選手権 勤務中の視聴はOK？

欧州サッカー選手権「UEFA ユーロ 2024」が 14 日に開幕した。今回はドイツが開催国であり、決勝が行われる 7 月 14 日まではお祭り騒ぎが続くだろう。自国代表の試合が仕事の時間帯と重なると、そわそわして業務に集中できない従業員が出てくるなど問題が予想される。労働法専門の出版社であるブント・フェアラクがこのテーマを取り扱っていたので、今回はこれを紹介する。

勤務時間中にパソコンやスマホでライブ中継を視聴する従業員は出てくると予想される。雇用主がそうした行為を認めていけば問題はないが、そうでない場合は処分されても文句は言えない。たとえ画面を短時間、見たに過ぎないとしても、業務専念義務に抵触するのであれば、公私混同にも当たる。

個人の携帯電話機の利用に関するルールがない職場ではスマホ画面をチラッとみるぐらいであれば許容され得るが、許容しないことも可能だ。

大会期間中は代表チームのユニフォーム（レプリカ）を着て仕事をしたり、職場を国旗などでデコレーションしたいと思う社員もいる。デコレーションに関しては雇用主の許可が必要となる。ユニフォームについてもドレスコードや制服のある職場であれば、異装許可を得なければならない。

観戦のために有給休暇を申請す

る社員もいるだろう。業務に支障が出なければ許可できるが、そうでない場合は却下せざるを得ない。そうしたケースでは病気と偽ってズル休みをする者も出てくる可能性がある。これは許容してはならない行為であり、明確な証拠がある場合は処分を下すべきだ。

試合後に深酒し、アルコールが体内に残った状態で翌日に仕事をするのは就労者の義務違反に当たる。仕事を適切にこなせなければ処分されたり、帰宅を命じられたりする。後者の場合は実労働時間が減ることから、給与はその分、差し引かれることになる。また、アルコールが抜けない状態で怪我をした場合は労災保険が適用されない。

法律の規定は堅苦しいが、現地法人の責任者は常に頭の隅に置いておかなければならない。実際どのような措置を取るかは、職場の実情に踏まえて柔軟に決めれば良いだろう。

<SC50010>

## サービスが物価押し上げ 5月インフレ率2.4%に上昇

ドイツ連邦統計局が12日に発表した5月の消費者物価指数(2020年=100)は前年同月比2.4%増となり、上げ幅は前月を0.2ポイント上回った。インフレ率の上昇は5カ月ぶり。ルト・ブラント局長はサービス価格の上昇が物価を押し上げたと指摘した。エネルギーと食料品は年初以降、インフレの押し下げ要因となっている。

エネルギーは1.1%下がった。炭素税の大幅引き上げ、電力・天然ガ

ス・地域熱料金を国が部分負担する臨時措置の打ち切り(ともに1月)、天然ガスと地域熱に付加価値税の軽減税率を適用する臨時措置の終了(4月)という押し上げ要因があったにもかかわらず、低下した。下げ幅は電力で7.4%、天然ガスで5.2%に上った。地域熱は27.9%、石油製品は2.8%上昇した。エネルギーを除いたインフレ率は2.8%だった。

食料品は0.6%上がった。上げ幅

が大きかったのは食用油脂で7.4%を記録。オリーブオイルは産地の干ばつの影響で48.5%に達した。砂糖・ジャム・はちみつ・その他の甘味類(+6.9%)、果物(+2.9%)、パン・穀物製品(+1.9%)、食肉・肉製品(+1.3%)も食料品の平均を上回っている。乳製品は5.1%、生鮮野菜は3.5%低下した。食料品とエネルギーを除いたコアのインフレ率は前月と同じ3.0%だった。

食料品以外の物品をみると、たばこ(+6.0%)、ノンアルコール飲料(+5.8%)などで上げ幅が大きかった。携帯電話機と情報機器はそれぞれ7.4%、6.2%低下した。

サービスは3.9%増となり、前月を0.5ポイント上回った。比較対象の23年5月は全国の近距離公共交通機関を月49ユーロですべて利用できる定期券「ドイチュラントチケット」が導入され交通料金が大幅に低下しており、今年5月はそのベース効果でサービスの上げ幅が膨らんだ。上昇率が特に大きかったのは保険(+13.0%)、飲食(+6.9%)、パック旅行(+5.6%)など。電車やバスなど複数の公共交通機関を利用できるチケットの料金は3.5%に上った。

前月比のインフレ率は0.1%だった。聖霊降臨節の連休が前年より早かったことから航空券が7.7%、パック旅行が5.7%上昇。エネルギーは1.3%、食料品は0.2%低下した。

欧州連合(EU)基準のインフレ率は前年同月比が2.8%、前月比が0.2%。前月はそれぞれ2.4%、0.6%だった。

<SC49989>

| 消費者物価指数の変動率 項目別       |                      |                   |         |      |
|-----------------------|----------------------|-------------------|---------|------|
| 項目                    | 物価全体に占める比重<br>(単位:%) | 指数<br>(2020年=100) | 2024年5月 |      |
|                       |                      |                   | 前年同月比   | 前月比  |
|                       |                      |                   | (単位:%)  |      |
| <b>全体</b>             | 1,000.00             | 119.3             | 2.4     | 0.1  |
| 食料品・ノンアルコール飲料         | 119.04               | 132.1             | 1.2     | -0.1 |
| 食料品                   | 104.69               | 132.5             | 0.6     | -0.2 |
| 食肉・肉製品                | 22.16                | 128.8             | 1.3     | -0.1 |
| 果物                    | 11.62                | 117.0             | 2.9     | -0.3 |
| 野菜                    | 13.72                | 130.4             | -2.2    | -0.8 |
| アルコール飲料・タバコ           | 35.26                | 121.5             | 4.0     | -0.4 |
| 衣料品・靴                 | 42.25                | 111.2             | 2.8     | 0.1  |
| 住居・水道光熱費              | 259.25               | 115.9             | 1.2     | 0.0  |
| 家賃                    | 68.30                | 107.5             | 2.2     | 0.1  |
| 帰属家賃                  | 104.13               | 106.7             | 2.2     | 0.1  |
| 電力・ガス・その他の家庭用エネルギー    | 43.44                | 151.1             | -3.3    | -0.7 |
| 電力                    | 24.50                | 127.6             | -7.4    | -0.1 |
| 天然ガス                  | 6.07                 | 191.2             | -5.2    | -0.5 |
| 灯油                    | 1.70                 | 198.6             | 9.7     | -6.3 |
| 家具・家電等                | 67.78                | 118.2             | 0.8     | -0.3 |
| ヘルスケア                 | 55.49                | 107.6             | 2.7     | 0.0  |
| 交通                    | 138.22               | 125.7             | 2.6     | 0.0  |
| 自動車燃料                 | 30.46                | 146.3             | 2.2     | -2.3 |
| ハイオクガソリン              | 23.19                | 145.1             | 1.8     | -1.8 |
| 軽油                    | 6.92                 | 149.0             | 4.4     | -4.2 |
| 通信                    | 23.35                | 99.3              | -0.7    | 0.1  |
| 余暇・娯楽・文化              | 104.23               | 115.7             | 1.8     | 0.8  |
| パック旅行                 | 13.22                | 128.2             | 5.6     | 5.7  |
| 教育                    | 9.06                 | 113.7             | 4.9     | 0.1  |
| 飲食・宿泊                 | 47.20                | 126.7             | 6.3     | 0.6  |
| その他の物品・サービス           | 98.87                | 119.3             | 6.2     | 0.3  |
| 食料品とエネルギーを除いたコアのインフレ率 | 821.41               | 114.9             | 3.0     | 0.3  |

出所:連邦統計局

## 中国製BEVにEUが関税上乘せへ BMWなど欧州勢の現地生産車も対象に

欧州連合（EU）の欧州委員会は12日、中国製電気自動車（BEV）に対して進めている反補助金調査について、不当な公的補助を受け安値でEUに輸出して域内の事業者を圧迫しているとして、同国製BEVに最大38.1%の関税を上乘せする方針を打ち出した。中国政府が是正に応じなければ、7月4日までに適用する。中国は同決定に猛反発し、報復措置を発動する構えを見せており、大規模な通商紛争に発展しそうな雲行きだ。

現在10%となっている税率に上乘せを行う。上乘せ幅は21%が標準だが、各メーカーの調査への協力度に応じて調整し、非協力的な場合は最大38.1%となる。欧州委がサンプルとして示した主要3社の追加税率は、比亞迪（BYD）が17.4%、吉利汽車が20%、上海汽車集団が38.1%。最も高水準の上海汽車は現行税率と合わせて50%近く

まで引き上げられる。

追加関税は中国メーカーだけでなく、中国で生産したBEVをEUに輸出する欧米のメーカーも対象となる。

欧州委は23年10月、中国製BEVに対する反補助金調査を開始。調査は11月2日まで続けるが、12日に暫定結果を発表し、関税を上乘せする方針を示した。

ただ、域内のBEV輸入業者、消費者にも悪影響が及ぶことから、中国政府との協議による解決を模索している。欧州委が指摘する問題について中国が対応しない場合に、7月4日までに適用を開始する。

中国外務省の報道官は同日、EUの措置を「典型的な保護主義だ」と批判。「我が国の正当な権利、利益を守るため、あらゆる必要な措置を講じる」として、報復措置発動を示唆した。17日にはEU産の豚肉に

対する反ダンピング（不当廉売）調査を開始すると発表している。

中国製BEVは低価格を武器にEUでの販売を急激に伸ばしている。欧州委によると、中国製の販売価格はEU製を20%程度下回る水準で、EU市場でのシェアは19年に1%未満だったが、現在は8%に拡大。25年には15%に達する見通しだ。

関税引き上げには域内のBEVメーカーを守る意図があるものの、BMW、フォルクスワーゲン（VW）など中国でBEVを生産している域内メーカーにも跳ね返ってくる。BMWは「間違った方向に進んでいる」として、欧州委の決定に難色を示した。

さらに、中国が報復措置として自動車などEU製品への関税を引き上げる可能性が高く、関連業界は早くも戦々恐々としている。VWは中国製EVへの関税上乘せについて「欧州、特にドイツの自動車産業にとっては、マイナス効果が潜在的利益を上回る」と指摘した。

<SC49992>

## 卸売物価の下げ幅縮小 5月は-0.7%に

ドイツ連邦統計局が13日に発表した5月の卸売物価指数（2021年=100）は前年同月比0.7%減の117.0となり、14カ月連続で低下した。下げ幅自体は前月の1.8%から縮小。23年5月以降で最小となった。

全体を最も強く押し下げたのは前月同様に化学品で、前年同月を13.9%下回った。このほか、鉄・鉄鋼（-12.1%）、穀物・葉たばこ・種子・飼料（-5.1%）、牛乳・乳製品・卵・食用油脂（-5.1%）で下げ幅が大きかった。非鉄金属鉱石・非鉄金属（+9.7%）、コーヒー・茶・カカオ・香辛料（+8.2%）、

砂糖・甘味菓子・パン類（+7.2%）、果物・野菜・じゃがいも（+6.4%）、たばこ製品（+5.4%）は大きく上昇した。

卸売物価指数は前月比では0.1%増となり、3カ月連続で上昇した。

<SC49990>

経済活動に大きく影響する  
EUの政策動向をお伝えしています



欧州経済ウォッチャーを読んで  
今のEUを知ろう

**FBC**

## UAE企業による買収をEUが調査へ 外国補助金規則違反の疑い、中国社以外では初

欧州連合(EU)の欧州委員会はこのほど、アラブ首長国連邦(UAE)の国営通信会社エミレーツ・テレコミュニケーションズ・グループによるチェコ同業 PPF テレコムの一部事業買収に関して、EU域外の国・地域の政府から補助金などの支援を受けた企業による EU 企業の買収などを制限する「外国補助金に関する規則(FSR)」に違反する疑いがあるとして、本格的な調査を開始したと発表した。FSR に基づく調査は、中国企業以外では

初となる。

エミレーツ・テレコミュニケーションズは2023年8月、PPF テレコムのチェコ以外(ブルガリア、ハンガリー、スロバキア、セルビア)の事業を21億5,000万ユーロで取得することで合意した。欧州委はエミレーツ・テレコミュニケーションズが同買収のため、政府系銀行から融資を受け、UAE 政府から無制限の融資保証を供与されたことを問題視。EU市場の競争を歪める買収になる疑いが濃厚とし

て、本格的な調査の開始に踏み切った。

2023年7月に発効したFSRは、EU市場で影響力を強める中国を念頭に置いたもので、一定規模以上の買収や公共調達への入札について事前通知を求めることが柱。欧州委が健全な競争を歪めると判断した場合、取引を差し止めることも可能になる。域外国政府による補助金には直接補助だけでなく、低利融資や税制上の優遇措置、無制限の保証など、あらゆる形の公的補助が含まれる。

<SC49993>

## 世界競争力ランキング 独は24位に後退

スイスのビジネススクールIMDが17日に発表した2024年の世界競争力ランキングで、ドイツは総合24位となり、前年の22位から後退した。同国の順位は低下が続いており、10年前の14年は6位に付けていた。ロシアのウクライナ侵略に伴う経済環境悪化のほか、時代の変化に見合った改革の遅れが反映されている。

同ランキングは世界の主要国を対象に毎年発表されている。統計データと経営者に対するアンケート調査をもとに「経済パフォーマンス

」 「政府の効率性」 「企業の効率性」 「インフラ」 の4分野で評価が下される。今年は計67カ国が対象となった。

ドイツは今回、4分野すべてで評価を落とした。IMD世界競争力センターのアルトゥーロ・ブリス所長は『フランクフルター・アルゲマイネ』紙に、ロシアの侵略戦争に伴う経済の失速、物価高騰など外的な要因のほか、時代の変化に対応できないという内的要因を指摘。特に中小企業はデジタル技術の活用を通じた生産性の向上という課題に手間取っているとの見方を示した。

現政権に対する経営者の評価は低く、政府が有能だとする回答は5%にとどまった。重い税負担も競争上の致命的なマイナス要因と受け止められている。

24年のランキングではシンガポールが3ランク上がり4年ぶりに首位に返り咲いた。2位はスイス、3位はデンマークが続く。トップ10はすべて小国が占めており、大国では米国の12位が最高だった。中国は14位、日本は38位となっている。

<SC49991>



## 競合企業のサンプル入手

ベンチマーク調査や

リバースエンジニアリングに！

## 企業情報

### フォルクスワーゲン（自動車）—印シンドルから低炭素鋼調達、中東で生産—

自動車大手の独フォルクスワーゲン（VW）グループは12日、印シンドル・グループ傘下のバルカン・グリーン・スチールから低炭素鋼の供給を受けることで基本合意したと発表した。2050年までに炭素中立を実現するとして目標実現に向けた措置。温室効果ガスの排出量が多い部材である鋼板を低炭素品へと改めていくことでサプライチェーンの脱炭素化を進める。

バルカン・グリーン・スチールは中東オマーンの港湾都市ドゥクムに水素製鉄が可能な工場を建設し、2026年から生産を開始する予定。当初は天然ガスを用いるものの、将来的にグリーン水素へと改める計画だ。

オマーンは風力と太陽光資源が潤沢なため、グリーン水素の生産に適している。ドゥクム工場で水素製鉄が始まると、生産に伴う二

酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の排出量が従来製法に比べ70%削減される。VWは同工場製の低炭素鋼を27年から年に最大30万トン調達する。

同社は独鉄鋼大手ザルツギターからも低炭素鋼を調達することで22年に合意した。また、商用車子会社スカニアを通してスウェーデンの低炭素鋼生産会社H2グリーン・スチールに出資している。

<SC49994>

### シーメンス（電機）—SF6フリーGISの生産能力拡大へ—

電機大手の独シーメンスは13日、フランクフルト東部のフェッヒェンハイム地区にあるガス絶縁開閉装置（GIS）の新生産施設竣工式で、隣接地区にGISの新工場を確保すると発表した。六フッ化硫黄ガス（SF<sub>6</sub>ガス）フリーGISの生産能力を拡大する。

オストエンド地区のカールベンツ通りにある3.5ヘクタールの用地を、建築物を含めて取得した。建築物の面積は1万5,500平方メートルで、内訳は生産ホールが1万3,000平方メートル、事務棟が2,500平方メートル。2025年初頭から生

産を開始する。投資額は1億ユーロに上る。

オストエンド工場は敷地内に線路を持ち、外部の鉄道網に接続している。マイン川の港湾（フランクフルト東港）にも面しており、物流環境が良い。フェッヒェンハイム工場との距離は1キロと短く、同社は両工場を一体運営していく意向だ。

GISは電力の安全・安定供給のために変電所設備・受電設備として設置される機器。絶縁媒体には通常、絶縁・電流遮断性能が高いSF<sub>6</sub>が使用される。ただ、SF<sub>6</sub>は二酸化

炭素（CO<sub>2</sub>）の何倍の温室効果を持つことを示す地球温暖化係数（GWP）が2万3,900と極めて高いことから、温暖化防止排出抑制対象ガスの1つに指定されている。

こうした事情を背景にSF<sub>6</sub>を用いないGISの需要が高まっており、シーメンスもSF<sub>6</sub>フリーGISを強化中。オストエンド工場が操業を開始すると、SF<sub>6</sub>の替りに大気中の元素からなる「クリーンエア」を利用した中電圧GIS「8DAB-blue GIS」の生産能力が拡大する。

<SC49995>

### エボニック（化学）—PEBAの生産能力倍増—

化学大手の独エボニックは13日、ポリエーテルブロッカムイド（PEBA）の生産能力を2倍に引き上げると発表した。アジアを中心に世界需要が拡大していることに対応する。生産能力の規模は明らか

かにしていない。

上海工場を大幅に拡大するほか、独マール工場の生産設備を最適化。生産能力を向上させる。

エボニックは「ベスタミドE」の商標名でPEBA製品を手がける。軽

量性と高い反発力が特徴で、高性能スポーツシューズに投入されている。自動車や医療機器でも使用される。

<SC49999>

## 川崎汽船（海運）—合成メタンの分野で欧州社と協業—

川崎汽船は12日、クリーンエネルギー製造のベルギー企業スリー・エナジー・ソリューションズ (TES) と、海運の温効ガス排出量ネットゼロへの移行に向け合成メタン (e-メタン) に関する包括的な共同検討を開始することで合意したと発表した。TES が生産する e-メタンの船舶燃料としての利用可能性の検討、制

度設計の研究、将来の e-メタンおよび原料としての二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) 輸送に向けた輸送船の管理・運航に関する技術的な提携を行う。また、低炭素・脱炭素燃料、カーボンインテンシティ (エネルギー消費当たりの CO<sub>2</sub> 排出量)、CO<sub>2</sub> 量の算定や証明書などに関連する制度についても研究していく。

e-メタンは再生可能エネルギー電力で製造したグリーン水素と CO<sub>2</sub> から合成する炭素中立の燃料。TES は北米、中東、アジア、オーストラリアで太陽・風力発電ベースのグリーン水素を製造し、e-メタンに加工している。

<SC49996>

## 東芝（電機）—欧州の鉄道安全性規格取得—

東芝傘下の東芝インフラシステムズは13日、独連邦鉄道庁 (EBA) の認定機関であるテュフ・ラインランドから、鉄道車両・部品溶接の欧州安全性規格「EN15085 認証」を取得したと発表した。欧州以外にも同規格を求められるケースが増えていることを受けた措置。具体的には、鉄道車両向けモーターを

対象機器として、最高クラスである CL1 に認証された。

大量輸送機関である鉄道には安全性の確保が厳しく求められる。特に欧州では車両および車両に搭載するシステム・部品の安全性のハードルが高い。鉄道車両・部品溶接では EN15085 認証が定められている。

近年は同規格に準拠を義務づける鉄道事業者が増加している。また、中国など欧州市場以外でも同規格の準拠を求める鉄道事業者がある。同社は今回の規格取得をてこに、海外市場での事業拡大を目指す。

<SC49997>

## BASF（化学）—合弁洋上パークでヴェスタス製タービン採用—

化学大手 BASF とエネルギー大手のバッテリー・グループは17日、独北海海域で計画する両社の合弁洋上風力発電パークにデンマーク企業ヴェスタスのタービンを採用することで合意したと発表した。2025年に投資の最終決定を下せば正式採用となる。

バッテリー・グループと BASF はホルクム島の北 85 キロメートルの海域に風力発電パーク「ノルトリヒ

ト1」「ノルトリヒト2」を設置することを計画している。発電容量はそれぞれ 980 メガワット (MW)、630MW で、年に計約 6 テラワット時 (TWh) を発電できる見通し。26年の着工、28年の全面稼働を見込む。BASF は 49% 出資し、両パークの電力の 49% をルートヴィヒスハーフェン本社工場など欧州の生産拠点で使用する。

両パークにはヴェスタス製の

タービン「V236-15.0 MW」112 基を投入する。容量 15 メガワット (MW) の同タービンは洋上風力発電分野で現在、出力が最も大きい製品。調達するタービンの半数に当たる 56 基ではタワーの一部に低炭素鋼を使用し、生産に伴う二酸化炭素 (CO<sub>2</sub>) の排出量を 16% 削減する。

<SC49998>

## KaDeWeグループ（小売）ータイのセントラルが完全子会社化ー

1月に民事再生手続きの適用を申請した独高級百貨店 KaDeWe グループを親会社であるタイのセントラル・グループが完全子会社化する契約が14日、調印された。買収金額は不明。取引の成立にはカルテル当局の承認が必要となる。dpa 通信などが報じた。

KaDeWe グループはセントラルが50.1%、昨年秋に経営破たんした塊シグナ・ホールディングの小売

子会社シグナ・リテールが49.9%出資する合弁会社。高級デパート KaDeWe をベルリン、アルスターハウスをハンブルク、オーバーポリンガーをミュンヘンで運営している。シグナの不動産子会社シグナ・プライム・セレクションに支払う割高な賃貸料が経営を強く圧迫していたことから、その負担を逃れるため今年1月、経営権を温存した民事再生の適用を裁判所に申請し

ていた。

傘下の3店舗のうち、KaDeWe が入居するビルについては4月、セントラルがシグナ・プライム・セレクションから完全買収することで合意した。アルスターハウスとオーバーポリンガーが入居するビルについても賃貸料を巡りオーナー企業と協議している。

<SC50000>

## FBCのロングリスト調査は



- ① 貴社の案件に合う対象企業をヨーロッパ全土から探します
- ② 全ての企業に貴社のプレゼン資料を送付
- ③ その後メール・電話で興味の有無を1件1件確認します

新たな **ビジネスパートナー** を探します

## 経済・産業情報

### 廃電池をレーザーでリサイクル トルンプが新開発の技術を見本市で公開

工作機械大手の独トルンプは12日、レーザー技術を用いた使用済み車載電池のリサイクル技術を開発したと発表した。従来のリサイクル技術に比べ手間暇がかからず経済性が高いことから、リチウムイオン電池のリサイクルに弾みが付きそうだ。18～20日にシュツットガルトが開催される電池技術見本市「バッテリー・ショー・ヨーロッパ2024」で世界初公開する。

従来のリサイクル技術では、人の手で解体した廃電池を機械的に粉砕しブラックマス（黒い粉末）を取り出したうえで、湿式製錬処理を実施。電池原料のリチウム、ニッケル、コバルト、マンガンを取り出す。

トルンプは廃電池の解体と原料の取り出しをともにレーザーシステムを用いて行う独自技術を開発した。解体作業は自動化されるこ

とから、時間とコストを低減できるほか、作業員が怪我をするリスクがなくなる。

同社はこれまで、パイロット設備を用いて世界の主要な自動車、電池メーカーと共同で開発に取り組んできた。技術は完成したもようで、「自動車、電池メーカーはトルンプのレーザー技術を用いることで、使用済みなし欠陥のある電動車用電池を初めて産業スケールでリサイクルできるようになった」としている。

欧州連合（EU）では2023年8月、域内で販売されるあらゆる電池の回収、再利用、リサイクルを推進するための「電池規則」が施行された。電動車などに使用される軽輸送手段（LMT）用電池に関しては、28年末までに51%、31年末までに61%の回収が求められる。

原材料の再資源化率について

は、リチウムの目標値を27年末までに50%、31年末までに80%と設定。コバルト、銅、鉛、ニッケルについては27年末までに90%、31年末までに95%の目標を掲げている。

リサイクル済み原材料の含有率に関しても、31年8月までの目標をコバルト16%、鉛85%、リチウムとニッケルはそれぞれ6%に設定。36年8月までの目標はコバルト26%、鉛85%、リチウム12%、ニッケル15%となっている。

フラウンホーファー生産技術・オートメーション研究所（IPA）のアレクサンダー・ザウアー所長によると、EU規制などを背景に「製造業では30年以降、欧州だけで年57万トンの電池材料をリサイクルしなければならなくなる」という。効率・経済性の高いリサイクル技術のニーズが一段と高まる。

<SC50001>

## FBCのショートリスト調査は



- ① ロングリスト調査の結果、興味・関心を示した企業の担当者を割り出します
- ② 当該企業の主な取引先や競合他社などのデータも入手します
- ③ ショートリストとして提出します

このデータをもとに**即営業を開始**できます

## 川重とダイムラーが協業 液化水素の供給網を欧州に構築

川崎重工業と独商用車大手ダイムラー・トラックは12日、欧州の道路貨物輸送の脱炭素化に向け「ドイツ向け液化水素サプライチェーンの構築および欧州における液化水素ステーションの輸送網の構築に向けた協力の覚書」を締結したと発表した。トラック輸送での液化水素の利用拡大を目指す。液体水素の国際的なサプライチェーン（供給網）の構築に取り組む川崎重工と、液体水素を用いた燃料電池トラックの市場投入を計画するダイムラー・トラックの思惑が一致した。調印式を3日に日本、締結セレモニーを11日にベルリンで行った。

両社は今後、供給網の構築に加え、液化水素のターミナル、海上輸送、大規模貯蔵についても検討を進めていく。川崎重工の金花芳則取締役会長は「川崎重工は、水素キャリアとしての液化水素に着目し、水素液化機、液化水素運搬船、液化水素貯蔵タンクなど、国際的な水素サプライチェーンの構築に必要なあらゆるコア技術を開発しています。世界最大の需要がある欧州の水素市場において、ドイツでの取組みは極めて重要です」と明言。ダイムラー・トラックのマルティン・ダウム最高経営責任者（CEO）は「川崎重工との取組みは、経済的な価格で

グリーン水素の提供を実現するために、ダイムラー・トラックが追求している包括的な視点と活動をより一層強化することに繋がります」と強調した。

ダイムラー・トラックは燃料電池トラックの実用化に向け着々と準備を進めている。プロトタイプ「GenH2トラック」を現在、製造しており、顧客企業が近く、実用テストを開始する予定だ。1月には再生可能エネルギー電力で製造されるグリーンな液体水素をアラブ首長国連邦（UAE）から欧州に輸送する可能性を模索することでアブダビ未来エネルギー公社（マスダール）と基本合意した。

<SC50002>

## 「内燃機関車の生産終了期限延長を」 市場動向踏まえアウディの従業員サイドが要求

独フォルクスワーゲン（VW）の高級乗用車子会社アウディで車両電動化計画の見直しを求める声が従業員の間で強まっている。欧米の電気自動車（BEV）市場が伸び悩むなかで需要が依然として大きい内燃機関車の製造・販売を計画通りに終了すると、同社の販売台数が大幅に減少する懸念があるためだ。経済紙『ハンデルスブラット』が14日付で報じた。

アウディの現行計画ではエンジンの開発を2026年で終了。内燃機関車の販売も欧州連合（EU）で禁止となる2年前の33年から全面停止することになっている。インゴルシュタット本社工場では30年から生産ラインがすべてBEV向けに切

り替えられる。

従業員代表のイエルク・シュラークパワー事業所委員長（監査役会副会長）は、BEVに一本化するという戦略自体には問題がないとしながらも、内燃機関車からの移行のスピードが速すぎると指摘。エンジン開発を継続し、30年7月から適用されるEUの次期排ガス基準「ユーロ7」に対応したモデルを販売できるようにすべきだ訴えた。エンジンの改良は内燃機関車の禁止計画がない主要市場の中国、米国向けモデルでも行うべきだとしている。

競合BMWは車種をBEVに絞り込むことに従来から批判的な姿勢を示しており、内燃機関車の販売

終了年を設定していない。このためエンジン開発を継続。生産ラインも内燃機関車とBEVを混流生産できるものとなっている。

メルセデスベンツは市場の動向によっては30年までに内燃機関車の販売を停止し、BEVに特化する「エレクトリック・オンリー」方針を21年に打ち出したが、販売低迷を受け先ごろ、柔軟に対応する方針へと修正した。

EUでは内燃機関車の販売を35年から禁止する政策の見直し要求が高まっている。同政策に対する不満が今月上旬に実施された欧州議会選挙で極右が勢力を伸ばす一因となったとみられるためだ。最大会派の欧州人民党（EPP）内では禁止延期論が浮上している。

<SC50003>

## 輸入BEVの4割が中国製に 新車シェアはMGロエベの4.5%が最高

今年1～4月にドイツに輸入された電気自動車 (BEV) に占める中国製品の割合が 40.9%に達したことが、連邦統計局の18日の発表で分かった。2023年は通年で29.0%、22年は同12.0%となっており、中国製BEVの存在感は急速に高まっている。ただ、その半分以上はテスラやBMWなど欧米メーカーが日本で生産したモデルが占めるとみられる。ドイツの乗用車新車登録統計を見る限り、中国メーカーの

存在感はそれほど高くない。統計局は中国からの輸入BEVに対する暫定的な上乗せ関税を課すとした欧州連合 (EU) 欧州委員会の決定を受け今回、データを公表した。それによると、1～4月に中国から輸入されたBEVは3万1,500台で、前年同期を15.7%下回った。輸入減にもかかわらず中国製BEVのシェアが伸びたのは、国内需要の冷え込みを受け全世界からのBEV輸入台数が45.3%減の7万

7,000台と大幅に縮小したため。2位のチェコ製は31.3%減の8,100台、3位の韓国製は51.3%減の6,700台だった。

連邦陸運局 (KBA) の最新統計によると、1～5月のBEV (乗用車) 新車登録台数 (14万713台) に占める割合が最も高い中国ブランドはMGロエベ (6,354台) で、4.5%だった。そのほかの中国車はBYD (776台) もGWM (669台) も1%に届いていない。

<SC50004>

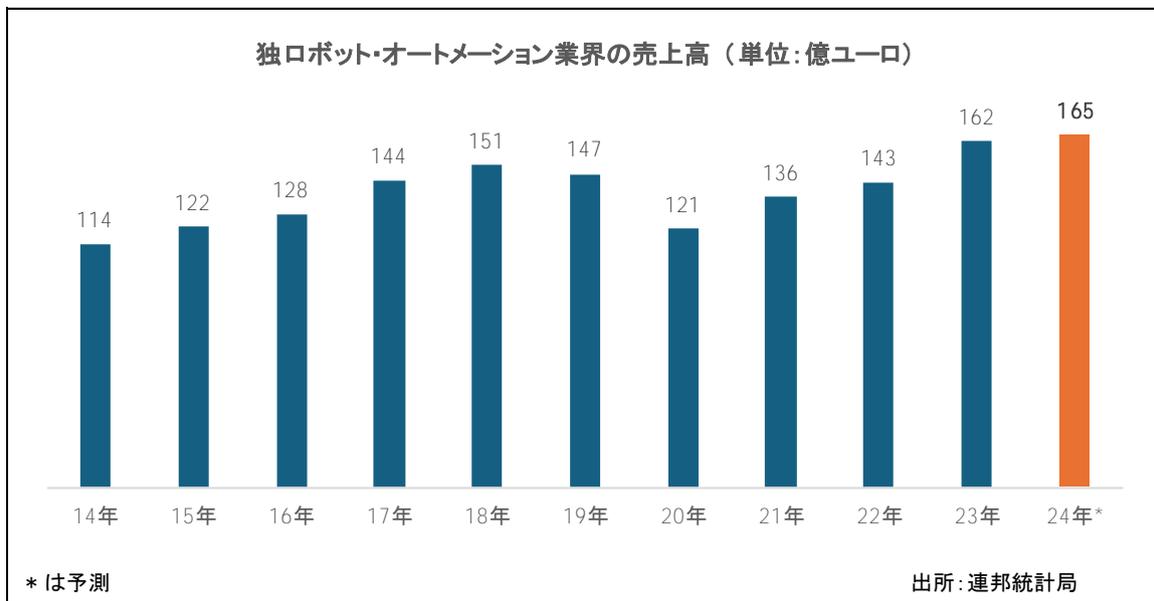
## ロボット・オートメーション 業界、売上成長鈍化見通し

ドイツ機械工業連盟 (VDMA) は17日、同国ロボット・オートメーション業界の売上高が今年165

億ユーロになるとの予測を発表した。過去最高となった前年 (162億ユーロ) を2%上回るものの、伸び率は前年の13%から大幅に縮小する。先行き見通しの不透明感を受

け国内メーカーが新規投資を控えていることが響く。

国外需要は旺盛で、今年1～4月の新規受注高は前年同期を21%上回った。



<SC50005>

## フルーツ飲料の消費量減少 価格上昇など響く

ドイツのフルーツ飲料消費量が昨年は大きく減少したことが、業界団体 VdF が公開したデータで分かった。価格が大幅に上昇したほか、若年層で需要の縮小が続いているため、1人当たりの消費量は前年を2リットル下回る26リットルとなった。

減少幅が特に大きかったのはオレンジジュースとアップルジュースで、それぞれ0.3リットル減って6.8リットル、5.1リットルとなっ

た。複数の果物液を混合したマルチビタミンジュースは0.1リットル減の4.0リットルだった。

連邦統計局によると、ジュースの市販価格は昨年、30%以上、上昇した。VdFによると、特にオレンジジュースで上げ幅が大きかった。気候変動などを背景に上昇は今後も続く見通しという。1リットル入りの製品の場合、2ユーロ未満では採算が合わないという。

需要は落ち込んだものの、ドイツはフルーツ飲料の消費大国で、VdF が作成したグラフでは消費量

が最も多い。2位スウェーデンは1人当たりの消費量が20.9リットル、3位の米国は20.8リットルとなっている。

ドイツで昨年販売されたフルーツジュース/ネクター（野菜を含む）を包装容器別で見ると、最もシェアが高いのはワンウェイのペットボトルで49%に上った。これに紙パックが34%、リターナブル瓶が12%で続いた。リターナブルのペットボトルは1%未満にとどまった。

<SC50006>

## プレハブ住宅の完工数 従来型に比べ減少幅小さく

ドイツ連邦統計局が17日に発表した2023年のプレハブ住宅完工件数は1万9,900件だった。前年を2.5%下回ったものの、従来の建築手法で建設された住宅（7.5%減の7万6,900件）に比べると減少幅が小さい。建設コストが急上昇する

なかで割安感が評価された可能性がある。住宅完工件数に占める割合は前年の19.7%から20.6%に拡大した。

プレハブ住宅の内訳をみると、3世帯以上の集合住宅が12.0%増の790件と全体をけん引。2世帯住宅も6.0%増の2,300件に拡大した。1世帯住宅は4.1%減の1万6,900件

に落ち込んだ。シェアは1世帯住宅が84.6%とダントツで大きい。

プレハブ住宅の価格は前年を8.1%上回った。従来型の住宅（同8.5%）に比べ上げ幅はやや小さい。10年前に比べると72.7%上昇した。

<SC50007>

## 露ガス大手への独ユニパーの 損害請求権、仲裁裁が認定

独エネルギー大手ユニパーは12日、ロシア国営天然ガス会社ガスプロムに損害賠償の支払いなどを求めて同社が起こしていた裁判で勝訴したと発表した。スウェーデンの仲裁裁判が130億ユーロ超の支払いをガスプロムに命じたという。ただ、ガスプロムがこの命令に従うことは考えにくく、ユニパーのマイケル・ルイス最高経営責任者（CEO）は「有意義な額を期待できるかどうかを現在の見地から判断することはできない」と述べた。仲裁裁の裁定は最終的なもので、

法的拘束力があるという。

ユニパーはドイツ最大の天然ガス輸入会社。ガスの大半をガスプロムから長期契約に基づいて調達してきたが、ウクライナ戦争に伴う欧米の制裁への報復措置としてガスプロムが供給を2022年6月に大幅縮小。同8月末からは完全停止したことから、極めて割高なスポット市場でのガス購入を余儀なくされ、財務が急速に悪化した。ユニパーが経営破たんするとドイツのエネルギー供給に大きな支障が出ることから、政府は12月に同社を国有化し、総額130億ユーロ強の資金を注入した。

ユニパーはこれを受け22年末、スウェーデンの仲裁裁判所に提訴していた。ガスプロムとの契約で両社の係争は同仲裁裁で解決することが取り決められていたためだ。

今回の裁定では、ガスプロムとの全契約を解除する権利の確認を求めた訴えも認められた。ユニパーはこの権利を行使し、ガスプロムからの調達を法的に終了する。実際の供給は22年夏以降、停止されているものの、供給契約自体は有効な状態が続いていた。

<SC50008>

## 金属労組がベア7%要求へ 国内雇用に悪影響と雇用者側はけん制

独金属労組IGメタルの執行部は17日、9月に始まる電機・自動車・機械業界の労使交渉で7%のベアアップを要求する方針を固めた。各地区の支部の意見を踏まえ7月9日に最終決定を下す。経営側は大幅賃上げの余地はないとしており、交渉は難航が予想される。

現行協定は2022年11月に締結された。23年6月に5.2%、24年5月に3.3%の賃上げを実施。物価の高騰を踏まえ、所得税と社会保険料免除のインフレ調整一時金が一律3,000ユーロ支給された。

製造業の景気は低迷している。新規受注は底打ちの兆しが出ているものの、水準は低い。それにもかかわらずIGメタルが大幅ベアを要求するのは、組合員アンケート調査で「自社の経営状態が安定している」との回答が80%に達したためだ。クリスティアーネ・ベンナー第1委員長は、一部の企業の業績が振るわないからといって業界全体の被用者がそのしわ寄せを受ける必要はないとの見解を表明した。

職業訓練生については月額ベースで一律170ユーロの賃上げを要

求する。上げ幅は7%を大幅に上回る。同労組はこれについて、物価の高騰を受け職業訓練生の3分の1が副業を余儀なくされている現状を改めるためだと説明した。

雇用者団体ゲザムトメタルは、大幅な賃上げを実施すれば、生産拠点などの国外移転が加速すると指摘。人件費の上昇は国内雇用に悪影響をもたらすとけん制している。

現行協定は9月末で失効する。10月28日までに妥結しなければ、IGメタルは警告ストライキを実施できるようになる。

<SC50009>

# Information Broker Service

## 私たちは情報を迅速に探し出すスペシャリストです

FBCでは長年の調査業務ノウハウを活用して  
広範囲な情報検索サービスを提供しています



### プレスリリース

特定テーマに関する各界の評価  
政府の統計データ・公式見解など



### 情報検索

官報・広報・特許・学術文献  
調査レポート・書籍など



### 問合せや訪問予約の アレンジメント

産業団体・関係当局・専門家  
各所への問い合わせなど

検索料金は**250**ユーロ+VATから

お問い合わせはFBCカスタマーサポート +49-(0)69-5480950 [info@fbc.de](mailto:info@fbc.de) まで

## 目で見えるドイツの経済・社会

## ドイツで開催される主な国際見本市 2024年第3四半期

| 開催期間          | 開催都市     | 見本市名<br>主要取扱い品<br>公式サイト   | 前回開催データ                                 |                               |                            |
|---------------|----------|---|---|-------------------------------|----------------------------|
|               |          |   | 展示スペース<br>(純展示面積<br>単位:m <sup>2</sup> ) | 出展ブース数<br>(ドイツ国外からの<br>参加企業数) | 来場者数<br>(ドイツ国外からの<br>来場者数) |
| 7月3日 ~ 7月7日   | フランクフルト  | EUROBIKE 国際自転車貿易展<br>自転車、アクセサリ、ワークショップ用品<br><a href="https://www.eurobike.com">https://www.eurobike.com</a>                                       | 105,946                                 | 1,876<br>(1,435)              | 66,590<br>(19,446)         |
| 8月21日 ~ 8月25日 | ケルン      | gamescom 国際ゲーム産業見本市<br>ゲーム機、ゲームソフト、サービス<br><a href="http://www.gamescom.de">www.gamescom.de</a>   | 71,544                                  | 1,227<br>(933)                | 318,767<br>(43,242)        |
| 8月30日 ~ 9月8日  | デュッセルドルフ | キャラバン・サロン国際キャンピングカー見本市<br>キャンピングカー、キャンプ用品、関連用品<br><a href="http://www.caravan-salon.de">www.caravan-salon.de</a>                                  | 132,084                                 | 771<br>(293)                  | 256,326<br>(31,353)        |
| 8月31日 ~ 9月2日  | オッフエンバッハ | ILM 国際レザーグッズ見本市<br>皮革、革製品、靴、衣料品<br><a href="http://www.ilm-offenbach.de">http://www.ilm-offenbach.de</a>  | 11,306                                  | 191<br>(107)                  | 2,105<br>(677)             |
| 9月3日 ~ 9月5日   | ケルン      | Kind + Jugend 国際ベビー・ヤング用品見本市<br>ベビー用品、子供服、子供用家具、衛生用品<br><a href="http://www.kindundjugend.de">www.kindundjugend.de</a>                            | 30,830                                  | 967<br>(889)                  | 13,596<br>(10,536)         |
| 9月3日 ~ 9月6日   | ハンブルグ    | SMM 国際造船・海運・海洋技術見本市<br>造船、海運、海洋技術、センサー、港湾、環境技術<br><a href="http://www.smm-hamburg.com">www.smm-hamburg.com</a>                                    | 48,995                                  | 1,912<br>(1,320)              | 29,984<br>(16,043)         |
| 9月6日 ~ 9月10日  | ベルリン     | IFA 国際家電見本市<br>AV技術、電化製品、IT、オンラインサービス<br><a href="http://www.ifa-berlin.com">www.ifa-berlin.com</a>   | 87,715                                  | 1,104<br>(905)                | 161,263<br>(77,485)        |
| 9月6日 ~ 9月7日   | カールスルーエ  | Platformers' Days モバイルリフティングと高所作業技術の見本市<br>昇降プラットフォーム、昇降装置、フォークリフト<br><a href="http://www.platformers-days.de">http://www.platformers-days.de</a> | 15,073                                  | 103<br>(26)                   | 1,553<br>(194)             |
| 9月10日 ~ 9月14日 | シュツットガルト | AMB 金属加工国際見本市<br>金属・表面加工、生産設備、オートメーション、ロボット<br><a href="http://www.amb-messe.de">www.amb-messe.de</a>   | 74,284                                  | 1,239<br>(312)                | 64,304<br>(11,516)         |
| 9月10日 ~ 9月14日 | フランクフルト  | Automechanika 国際自動車産業展<br>装備、部品、関連商品、整備、管理、サービス<br><a href="http://www.automechanika.com">www.automechanika.com</a>                               | 122,263                                 | 2,782<br>(2,316)              | 77,884<br>(49,975)         |
| 9月11日 ~ 9月14日 | ニュルンベルク  | GaLaBau 国際造園業見本市<br>建設機械、肥料、公園、ゴルフ場、計測・検査技術<br><a href="http://www.galabau-messe.com">www.galabau-messe.com</a>                                   | 60,319                                  | 1,093<br>(264)                | 61,433<br>(6,451)          |
| 9月17日 ~ 9月20日 | エッセン     | security essen 国際セキュリティ・防火産業展<br>警報装置(盗難、火災、ガス、煙)、セキュリティ技術<br><a href="http://www.security-essen.de">www.security-essen.de</a>                    | 13,286                                  | 370<br>(173)                  | 14,491<br>(4,695)          |
| 9月17日 ~ 9月22日 | ハノーバー    | IAA ハノーバー国際モーターショー(商用車)<br>トラック、トレーラー、軽商用車、バス、パーツ、輸送・物流<br><a href="http://www.iaa.de/en/">http://www.iaa.de/en/</a>                              | 不明                                      | 1,402<br>(不明)                 | 132,740<br>(不明)            |
| 9月18日 ~ 9月19日 | ケルン      | DMEXCO デジタルマーケティング見本市<br>マルチメディア技術、電子決済、マーケティング<br><a href="http://www.dmexco.de">www.dmexco.de</a>   | 20,329                                  | 547<br>(206)                  | 27,971<br>(6,915)          |

次ページに続く⇒

| 開催期間          | 開催都市     | 見本市名<br>主要取扱い品<br>公式サイト   | 前回開催データ                                 |                               |                            |
|---------------|----------|---|---|-------------------------------|----------------------------|
|               |          |   | 展示スペース<br>(純展示面積<br>単位:m <sup>2</sup> ) | 出展ブース数<br>(ドイツ国外からの<br>参加企業数) | 来場者数<br>(ドイツ国外からの<br>来場者数) |
| 9月19日 ~ 9月21日 | ドルトムント   | InterTabac 国際タバコ見本市<br>タバコ、タバコ関連用品<br>www.intertabac.de   | 26,614                                  | 692<br>(544)                  | 13,277<br>(7,502)          |
| 9月24日 ~ 9月26日 | シュツットガルト | INTERGEO地球のための知識と行動<br>鉱業、測地学、地理情報、都市衛生<br>http://www.intergeo.de                                     | 13,748                                  | 544<br>(305)                  | 18,739<br>(8,379)          |
| 9月24日 ~ 9月26日 | ニュルンベルク  | FachPack 梱包見本市<br>梱包デザイン、梱包機器、梱包材、仕分け器材<br>www.fachpack.de  | 47,239                                  | 1,153<br>(492)                | 30,705<br>(9,786)          |
| 9月24日 ~ 9月27日 | ベルリン     | InnoTrans 国際交通産業見本市<br>鉄道技術、車両、内装、安全・輸送技術、橋・トンネル<br>www.innotrans.de                                  | 112,270                                 | 2,771<br>(1,717)              | 137,403<br>(76,927)        |
| 9月24日 ~ 9月27日 | ハンブルグ    | WindEnergy 洋上・陸上風力発電見本市<br>洋上・陸上風力発電、蓄電技術、作業船、サプライヤー<br>www.windenergyhamburg.com                     | 34,470                                  | 1,425<br>(768)                | 29,142<br>(14,859)         |
| 9月25日 ~ 9月28日 | デュッセルドルフ | REHACARE 国際リハビリテーション見本市<br>リハビリ関連機器、ボディケア用品、安全技術<br>www.rehacare.de                                   | 19,928                                  | 706<br>(454)                  | 27,173<br>(6,982)          |
| 9月25日 ~ 9月26日 | フランクフルト  | Cleanzone 汚染管理とクリーンルーム技術の国際見本市<br>プラントエンジニアリング、作業服、自動化システム<br>http://www.cleanzone.messefrankfurt.com | 1,530                                   | 82<br>(31)                    | 752<br>(192)               |

2023年5月27日調べ

&lt;SC50011&gt;

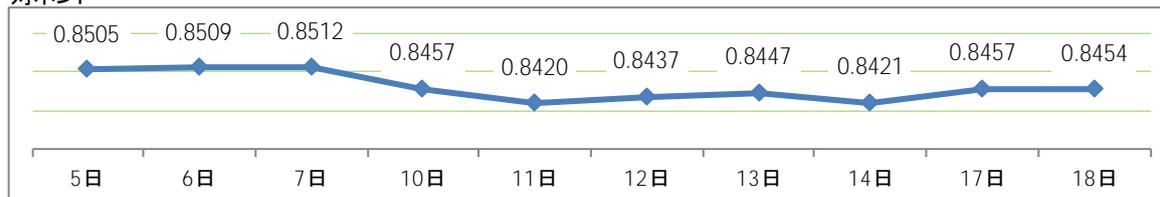
# 為替・株価・原油 (2024年6月5日~18日)

## ユーロ相場

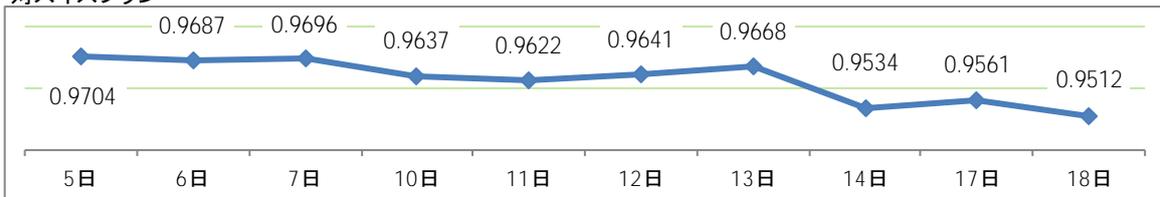
対ドル



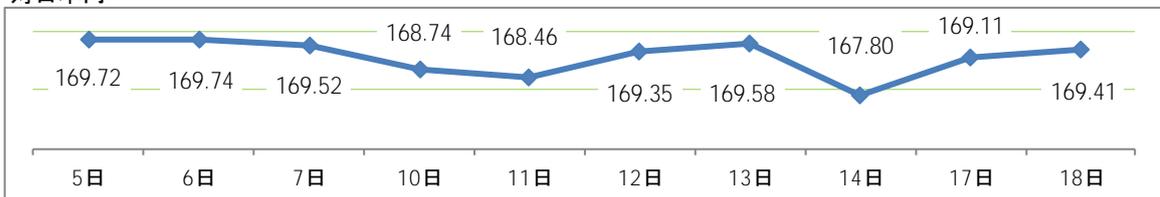
対ポンド



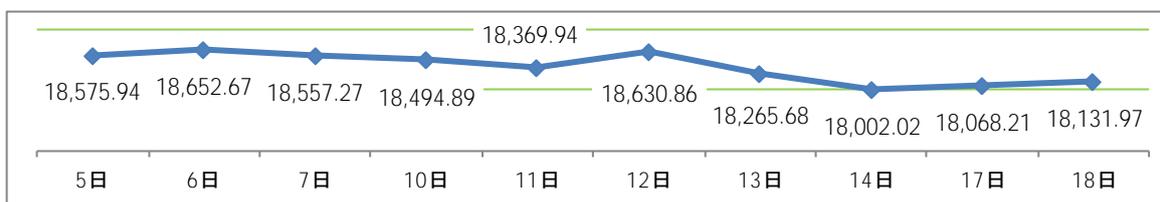
対スイスフラン



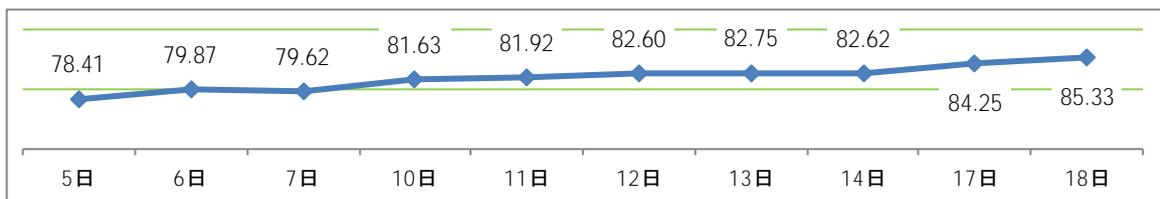
対日本円



## DAX40



## ブレント原油(先物。1バレル当たり。単位:ドル)



出所: 欧州中央銀行、ドイツ証券取引所、ロンドン国際石油取引所

<SC50012>